平成　27　年度

事務事業に関する点検・評価シート

施策番号　V－12

重点施策	「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進

評価実施者		
	所　属	社会教育課
	職・氏名	課長　景由隆寛

重点施策の概要		
	目　的	「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、成果を生かした生涯学習を推進するため、生涯学習情報をインターネット等を通じて発信するとともに、学びの仲間づくりや成果発表の機会の拡充など、子どもから高齢者まで生涯各期の生き生きとした生涯学習活動を推進します。
	今年度の主要事業	①「子どもの育成」をテーマとした地域力活性化事業（継続） ②地域おこし協力隊を活用した一般財団法人滝川生涯学習振興会（以下：リブラーン）との連携（新規） ③児童生徒がスマホ等電子機器を安心・安全に利用できる環境づくり

事業の目標と実績	区分			単位	H25	H26	H27	特記事項
	1	地域等との連携による事業を実施した地区育成会数	目標	回	7	7	7	
			実績		2	6	6	
	2							

事業の分析効果の検証	
	[事業の分析] ①各地区育成会においては、西地区、東地区と東滝川地区合同での通学合宿に加え、北地区と江部乙地区が合同でふれ愛の里コテージを使っての宿泊学習を行うなど、地域の大人の支援によって体験メニューが更に充実した。また、中地区では見守り用のベストをそろえ、登下校の見守りを実施したところ、校区内の不審者の報告がほぼなくなるなど効果をあげた。通学合宿や見守りなど地域の特性を生かした活動を通じ、地域力を活かした事業が進められている。 ②生涯学習事業をより効率的・効果的に進めるため、10月に地域おこし協力隊を採用した。平成27年度は、リブラーンの事業協力や、市内で行われている各講座に出向いての調査を行い、今後の連携方法や情報提供についての方針ができた。 ③携帯電話販売店を訪問し、スマホ等へのフィルタリングの徹底を要請するとともに、滝川市PTA連合会研究大会において児童生徒のインターネット利用をテーマに課題や取り組みについて議論するなど、電子機器を安心・安全に利用できる環境づくりへの機運が高まった。 [効果の検証] ①各地区の事業の精度が上がり、関わる支援者の満足度も高くなっている。学校の協力も年々積極的となり、地域・家庭・学校をつなぐ役割を各地区育成会が認識していることは評価できる。 ②福寿大学におけるリブラーンや短大との連携を進めるための基礎ができたことは評価できる。 ③滝川市PTA連合会研究大会は、道教委からも注目され、道教委が設置する「北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会」のモデル事業に指定され、保護者等に次の取り組みについての必要性を引きだすことができたことは評価できる。
課題	①前年に引き続き、市街地での事業展開が未着手に終わった。地域が実現したいことを引きだし、その“持ち味”を生かして地域力を発揮することが、地域の役割であると気づいてもらうことが課題。 ②将来的に高齢者学習をリブラーンに移行していくために、現在の福寿大学の仕組みを見直し、スムーズに移行していくことが課題。 ③スマホ等の所有率が高まるなかで、継続的かつ効果的な取り組みや、学校・保護者・企業との連携の仕組みづくりが必要。

評価	A	
		評価の視点1　期待どおりの効果があったか ①全市的な波及もあり、期待どおりの効果があった。 ②基礎づくりができ、期待どおりの効果があった。 ③特に保護者の機運を高めることができ、期待どおりの効果があった。 **評価の視点2　施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか** ①各地区にて青少年育成会の自発的な動きが生まれているので、事業の見直しは必要ない。 ②目標にむけて進んでいるため、事業の見直しは必要ない。 ③目標にむけて進んでいるため、事業の見直しは必要ない。

【評価の区分】
- A：期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B：ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C：概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D：期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	
	①青少年育成会を核とした地域づくりの流れができつつあることから、市内7地区青少年育成会が「子どもの育成」をテーマに地域の“持ち味”を生かした事業を通じて、地域コミュニティの強化につながるよう今後とも支援をしていく。 ②リブラーンや短大との情報交換・連携を密にし、福寿大学を民間に移行するための仕組みをつくる。 □ 拡充　□ 縮小・統廃合　■ 質的向上　□ ｽﾋﾟｰﾄﾞｱｯﾌﾟ　□ 検証　■ 継続

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	高齢者学習をリブラーンに移行していく段階において、後退させることのないよう取り組んで欲しい。